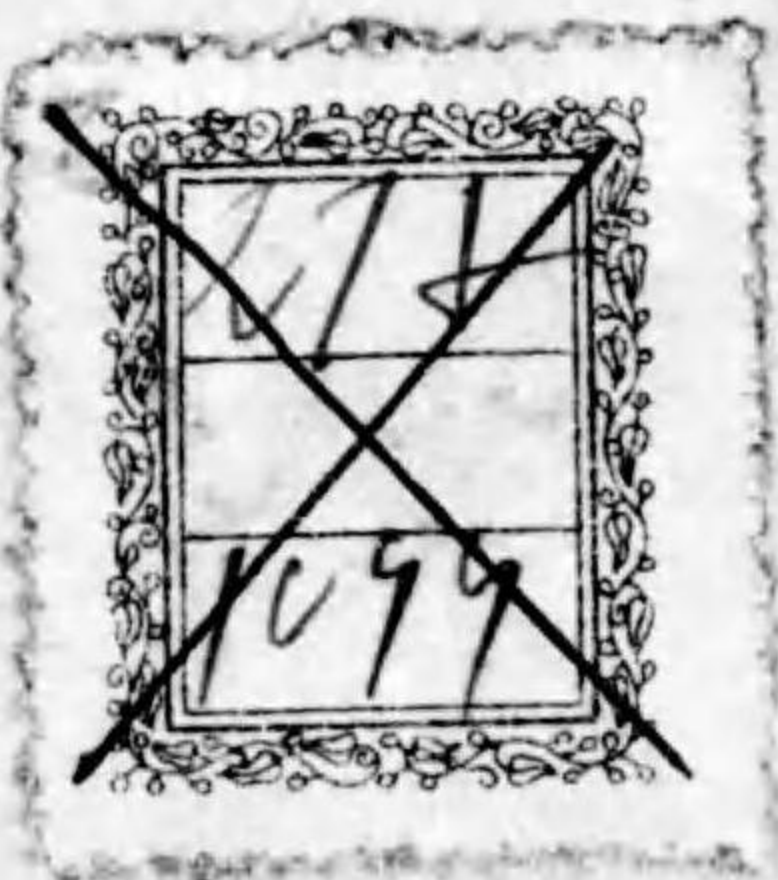


特 100

550

福井縣農會要覽



始



特100  
550

# 井縣農會要覽

## 目次

- 一、福井縣農會々則
- 二、福井縣農會處務規程
- 三、福井縣農會褒賞規程
- 四、福井縣農會俸給旅費支給規程
- 五、福井縣農會職員退職及遺族給與金規程
- 六、福井縣農會財產管理規程
- 七、福井縣農會基本財產管理規程
- 八、福井縣農會積立金管理規程

大正  
6. 8. 16  
内交

### 福井縣農會要覽正誤

頁	一	二	三	四	四	五	五	六	七	八	八
行	〇	〇	〇	〇	〇	三	七	二	七	三	九
誤	款	減	囑	時	農	設	區	區	非	設	款
	內	俸	托	間	事	立	域	域	ナ	項	算
				ノ	ノ	シ	ニ	ハ	ル	ケ	算
					改	タ					正
					良	ル					

- 一、福井縣農會々計規程 ..... 二六
- 一、福井縣農會農事試驗場規程 ..... 二四
- 一、福井縣農會農事試驗場處務規程 ..... 二六
- 一、福井縣農會議事規則 ..... 二七
- 一、福井縣農會農藝委員設置規程 ..... 二九
- 一、福井縣農會郡農會技手給補助規程 ..... 四一
- 一、福井縣農會農事講習會規則 ..... 四二
- 一、福井縣農會野鼠室扶斯菌拂下規程 ..... 四四
- 一、福井縣農會依賴分析規程 ..... 四六

附 錄

- 、農會法 ..... 四九

- 一、農會令 ..... 五一
- 一、農會令施行規則 ..... 五三
- 一、農會經費豫算書、概算書及決算書樣式 ..... 六六
- 一、農會報告事項 ..... 八三

# 福井縣農會々則

## 第一章 總 則

第一條 本會ハ福井縣農會ト稱ス

第二條 本會ハ左記ノ郡農會ヲ以テ之ヲ組織ス

足羽郡農會	吉田郡農會	坂井郡農會
大野郡農會	今立郡農會	丹生郡農會
南條郡農會	敦賀郡農會	三方郡農會
遠敷郡農會	大飯郡農會	

第三條 本會ハ農事ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トシ左ノ事業ヲ行フ

- 一、農事ニ關スル講話會講習會品評會共進會競技會等ノ開設ニ關スル事
- 二、農事ノ試驗調查研究ニ關スル事
- 三、作物ノ品種及栽培法ノ改良獎勵ニ關スル事
- 四、養蠶畜產家禽園藝其他副業ノ獎勵ニ關スル事
- 五、農具及肥料ノ改良獎勵ニ關スル事
- 六、動植物ノ病蟲害豫防驅除ニ關スル事
- 七、耕地整理及土地改良ノ獎勵ニ關スル事
- 八、農事ニ關スル經濟上ノ施設獎勵ニ關スル事
- 九、農村風紀ノ矯正及農業教育普及ニ關スル事
- 十、前各項ノ外農事改良發達上必要ナル事項

第四條 本會ノ事務所ハ福井市佐佳枝上町第八拾四番地ニ置ク

第五條 本會ニ名譽會員ヲ置ク  
 名譽會員ハ農事ニ功勞アルモノ又ハ農事ニ關シ學識經驗アルモノニ就キ總會ノ決議ヲ以テ推薦ス

第二章 役員及職員

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一名
- 副會長 一名
- 評議員 五名
- 幹事 二名

第七條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ及會務執行ノ狀況ヲ監査スルモノトス  
幹事ハ會長ノ命ヲ受ケ會務ヲ掌ル

第八條 會長及副會長ハ議員特別議員又ハ名譽會員中ヨリ評議員ハ  
議員特別議員中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選舉ス

前項ノ選舉ニ於テハ投票最モ多數ヲ得タル者ヲ當選者トス得票同  
數ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 幹事ハ會長之ヲ命免ス

第十條 會長副會長評議員ハ正當ノ事故ナクシテ辭任スルコトヲ得  
ス

第十一條 會長副會長評議員ハ正當ノ事由アルトキハ議員特別議員四

分ノ三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第十二條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ三ケ年トス

但滿期再選スルコトヲ得

第十三條 役員ニ欠員ヲ生シタル場合ハ各正條ニ依リ補欠スルモノ  
トス

但任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十四條 議員特別議員中ヨリ選舉セラレタル役員ハ任期中ト雖議  
員ノ任期滿了ニ依リ其任期滿了トス

第十五條 役員ハ其任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄其職務ヲ行  
フモノトス

第十六條 役員ハ名譽職トス

但會長副會長及幹事ニハ報酬ヲ評議員ニハ旅費日當ヲ支給スルコトヲ得

第十七條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

技師 技手 若干名

書記 若干名

第十八條 技師及技手ハ會長ノ命ヲ承ケ技術ニ關スル事務ニ從事ス

第十九條 書記ハ會長ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第二十條 職員ハ總テ有給トシ會長之ヲ任免ス

第二十一條 本會ニ顧問ヲ置ク

第二十二條 削除(大正六年六月一日臨時總會ノ決議ニヨル)第二十三條ヲ第二十二條ト改メ以下之ニ準ス

第二十三條 本會ハ事務ノ必要ニ應シ臨時又ハ常設ノ委員ヲ設ケ又

ハ施設事業ニ對シテハ特殊ノ委員ヲ設クルコトヲ得其職務權限ハ別ニ之ヲ定ム

第二十四條 顧問及委員ハ會長之ヲ囑託ス

### 第三章 帝國農會議員及豫備議員

第二十五條 本會ハ帝國農會議員及ヒ豫備議員各一名ヲ選出スルモノトス

第二十六條 帝國農會議員及ヒ豫備議員ハ總會ニ於テ本縣内ノ市町村農會々員及ヒ本會名譽會員中ヨリ之ヲ選舉ス

第二十七條 前條選舉ノ方法ハ第八條第二項ヲ適用ス

第二十八條 削除第二十九條ヲ第二十八條ニ繰リ上ケ以下之ニ倣フ

#### 第四章 總會

第二十九條 本會ノ總會ヲ分チテ通常總會及臨時總會ノ二種トス通常總會ハ毎年一回秋期ニ於テ之ヲ開キ臨時總會ハ會長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ議員特別議員三分ノ一以上ノ同意ヲ以テ會議目的及招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ之ヲ開ク

第三十條 總會ハ議員特別議員半數以上出席スルニ非ラサレハ之ヲ開クコトヲ得ス

但同一事件ニ付招集二回以上ニ及フモ尙ホ半數ニ滿タサルトキハ此ノ限リニ非ラス

第三十一條 總會ノ招集ハ其時日、目的及場所ヲ定メ書面ヲ以テ少ナクモ五日前ニ之ヲ通知スルモノトス

第三十二條 總會ノ議案ハ會長之ヲ發ス

第三十三條 總會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキハ副會長之ニ代ル

但會長及副會長事故アルトキハ議員特別議員中ヨリ臨時議長ヲ互選スルコトヲ得

第三十四條 總會ノ決議ハ出席シタル議員特別議員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第三十五條 名譽會員ハ總會ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得但決議權ヲ有セス

第三十六條 農會令第十五條ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ會長ハ意見書ヲ事務所ニ到達スヘキ期限ヲ指定スルコトヲ要ス



前項ノ期限迄ニ到達セサル意見書ハ採決ノ數ニ加ヘサルモノトス  
第三十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

### 第五章 會費及財產

第三十八條 本會ノ經費ハ郡農會ノ負擔トス

第三十九條 前條ノ經費分賦收入ノ方法ハ毎年豫算ニ於テ之ヲ定ム

第四十條 會費ハ毎年一回ニ之ヲ徵收ス

郡農會ニシテ解散スルコトアルモ己ニ徵收シタル會費ハ之ヲ還付セサルモノトス

第四十一條 本會ハ金員又ハ物品ノ補助又ハ寄附ヲ受クルコトヲ得前項ノ補助又ハ寄附ヲ受ケタルトキハ其目的ニ從ヒ之ヲ使用ス

第四十二條 本會ハ基本財産ヲ蓄積スルモノトス

其蓄積及管理ノ方法ハ別ニ之ヲ定ム

特定ノ目的ナキ補助又ハ寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ編入スルモノトス

第四十三條 財産處分ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ

但重大ナラサルモノニ付テハ會長ニ於テ處分スルコトヲ得

### 第六章 處務及會計

第四十四條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第四十五條 會長ハ主任ヲ定メ會務ヲ處理セシムルモノトス

第四十六條 豫算ノ款内ノ經費ノ流用支出ハ會長之ヲ專行スルモノトス

第四十七條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入スルモノトス

第四十八條 處務及會計ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム

第七章 會則ノ變更

第四十九條 會則ノ變更ハ總會ニ出席シタル議員特別議員三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス

第八章 解散

第五十條 解散ノ決議ハ議員特別議員四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

福井縣農會處務規程

第一條 本會ニ庶務事業會計ノ三掛ヲ置キ事務ヲ分掌セシムルコト左ノ如シ

庶務掛

- 一 會計其他ノ印章ヲ管守スルコト
- 二 職員ノ進退
- 三 文書ノ往復及整理ニ關スルコト
- 四 會議ニ關スルコト
- 五 諸報告ニ關スルコト
- 六 他掛ノ主管ニ屬セサル事項

## 事業掛

- 一 農事試驗場ニ關スルコト
  - 二 品評會共進會競技會種苗交換會ニ關スルコト
  - 三 農事講習講話其他農業教育ニ關スルコト
  - 四 農事調査ニ關スルコト
  - 五 郡農會事業ノ監督ニ關スルコト
  - 六 會報編纂ニ關スルコト
- 會計掛
- 一 經費ノ豫算決算ニ關スルコト
  - 二 金錢物品ノ出納ニ關スルコト
  - 三 金錢物品ノ保管ニ關スルコト

## 四 財産ノ處分ニ關スルコト

## 五 其他會計ニ關スルコト

第二條 各掛ノ事務ハ技術員書記ヲシテ分掌處理セシムルモノトス

第三條 本會ニ到達シタル文書ハ受付簿ニ受付ノ月日番號及件名ヲ

記載シ直ニ之ヲ主任者ヘ配布スベシ

第四條 前條ノ文書ヲ受ケタルトキハ三日以内ニ處理スベシ若シ三日以内ニ處理シ難キモノハ其ノ理由ヲ具シ豫メ會長ノ承認ヲ受クベシ

第五條 回議ハ總テ各掛ニ合議ノ上之ヲ會長ニ提出スベシ

第六條 本會ヨリ發送スル文書ハ發送簿ニ發送ノ月日番號件名ヲ記載シ郵便ニ付スルモノハ郵便切手受拂簿ニ其種類發送先ヲ記載シ

テ發送スベシ

第七條 金錢ノ收支ハ總テ會長ノ決判ヲ得テ執行スベシ

第八條 現金ハ常ニ確實ナル銀行ニ當座預トナシ必要ノ都度引出スモノトス

第九條 物品ノ購入ヲ要スルトキハ見積書ヲ徵シ會長ノ決裁ヲ得テ購入ノ手續ヲナスベシ

但金額參圓以内ハ見積ヲ徵セスシテ購入スルコトヲ得

第十條 臨時收入金ニシテ基本財産ニ編入スルモノハ確實ナル銀行ニ定期預ケトナスベシ

但定期預金ヨリ生スル利子モ亦同シ

第十一條 職員出勤シタル時ハ出勤簿ニ捺印スベシ

第十二條 本會役員職員會務ニ依リ出張セントスルトキハ命令簿ニ

其要務出張先豫定日數ヲ記シ會長ノ決裁ヲ受クヘシ

第十三條 出張ヲ命セラレタルモノハ歸會後五日以内ニ復命書ヲ提出スヘシ

第十四條 本會職員ノ執務時限ハ左ノ如シ

自三月一日至十月末日 午前八時出勤午後四時退出

自十一月一日至二月末日 午前九時出勤午後四時退出

冬季ハ十二月二十八日ヨリ一月三日迄及日曜、大祭日ハ休暇トス

第十五條 會計ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

### 福井縣農會褒賞規程

第一條 本會ハ農事ニ關シ功勞顯著ナルモノニ對シ有功章ヲ授與ス

第二條 授與スヘキ有功章ハ左ノ三種トス

第一種 有功章

第二種 有功章

第三種 有功章

第三條 第一種有功章ハ其功績顯著ニシテ縣下全般ニ及フ者ニ授與スルモノトス

第二種有功章ハ其功績一地方ニ普及シ良ク他ノ模範タルヘキモノニ授與スルモノトス

第三種有功章ハ農事ノ改善ニ盡シ其成績佳良ニシテ他ノ模範タルヘキ者ニ授與スルモノトス

第四條 第三種有功章ノ贈與ヲ受ケタルモノハ更ニ第一種第二種有

功章ヲ第二種有功章ノ贈與ヲ受ケタルモノハ更ニ第一種有功章ヲ受クルコトヲ得

本項ノ場合ニ於テハ先ニ受ケタル有功章ハ本會ニ返附スルモノトス

第五條 各郡農會ニ於テハ第三條ニ該當スヘキ候補者ヲ調査シ履歷書及有功明細書ヲ添へ本會へ提出スルモノトス

第六條 有功章ノ雛形ハ別ニ之ヲ定ム

### 福井縣農會俸給旅費支給規程

第一條 俸給及手當ハ豫算定額内ニ於テ會長之ヲ定メ毎月二十一日ヲ以テ支給ス

年俸ハ十二分ニシテ月俸ニ準シテ毎月之ヲ支給ス

但休日ニ當リタルトキハ繰下トス

第二條 俸給ヲ受クルモノ病氣ノ爲メ缺勤引續九十日以上私事故障ノ爲メ缺勤引續キ三十日以上ニ及フトキハ其半額ヲ減ス

第三條 俸給手當ハ新任増俸減俸トモ總テ辭令發布ノ翌日ヨリ日割ヲ以テ支給シ解職又ハ死亡ノ節ハ其月全額ヲ其際支給ス

第四條 日給ハ毎月末日ヲ以テ之ヲ支給ス

第五條 旅費ハ會長副會長顧問ハ第壹號評議員幹事技師ハ第貳號技手書記ハ第參號トシ別表定ムル所ニ從ヒ之ヲ支給ス

第六條 旅費ハ出張命令アリタルトキハ旅行日數五日以上ニ涉リタルトキハ概算渡ノ請求ヲナスコトヲ得

但シ歸着後五日以内ニ精算スヘシ

第七條 日額旅費ノ支給ヲ受クルモノハ陸路三里汽車八哩以下ハ車馬賃及汽車賃ヲ支給セス

第八條 旅費支給ノ方法ハ明治四十三年勅令第二百七十四號内國旅費規則ニ依ル

	汽車一哩ニ付	船賃一哩ニ付	車馬一里ニ付	宿泊一夜ニ付	日當一日ニ付
第一號	四錢	四錢	參拾錢	貳圓五拾錢	貳圓
第二號	四錢	四錢	貳拾參錢	壹圓五拾錢	壹圓
第三號	參錢	參錢	貳拾錢	壹圓拾錢	六拾錢

但特別ノ事情アルトキハ打チ切り渡シトスルコトアリ

22

### 福井縣農會職員退職及遺族給與金規程

第一條 本會有給職員カ滿一ケ年以上ニシテ左ノ各號ノ一ニヨリ退職スルトキハ本規程ニ依リ退職給與金ヲ支給ス

一 廢職又ハ事務ノ都合ニ依リ退職ヲ命セラレタルトキ

一 疾病又ハ職務上ノ傷痍ノ爲メ職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ

第二條 退職給與金ハ退職當時ノ俸給月額二分ノ一ヲ以テ在職年數ノ一ケ年ニ當テ其年數ニ通シ之ヲ算定ス

第三條 在職年數ノ起算ハ就職ノ月ニ始リ退職ノ月ニ終ルモノトス

第四條 職員在職中死亡シタル時ハ死亡當時ノ俸給月額二ケ月分ニ

等シ弔慰金ヲ遺族ニ支給ス

### 附 則

第五條 本規程ハ現在縣農會有給職員ニ對シ就職ノ月ニ遡リ之ヲ適用ス

### 福井縣農會財產管理規程

第一條 縣農會ノ財產ハ農會長之ヲ管理ス

第二條 不動産ヲ賣却セントスルトキハ評議員會ノ決議ヲ經競賣入札ニ付スルモノトス

但見積價額貳拾圓以内ノモノハ隨時契約ニ依ルコトヲ得

第三條 生産物製作物ハ本會農事試驗場長ニ於テ隨時契約スルコト

23

ヲ得

- 一 季節アル生産物ヲ賣却スルトキ
- 二 腐敗ノ虞アル物品ヲ賣却スルトキ

### 福井縣農會基本財産管理規程

第一條 本會ハ基本財産トシテ左ノ物件ヲ維持ス

- 一 金員及有價證券
  - 一 土地及建物
  - 一 特ニ收受シタル金員
- 第二條 基本金ハ有價證券ヲ買入レ又ハ確實ナル銀行若クハ郵便貯金ニ預ケ入レ之レヨリ生スル利子ハ總テ基本金ニ組入ル、モノト

ス

第三條 基本金ノ收支決算ハ會計年度ニ依リ之ヲ整理シ毎年經費計

算ト共ニ公示ス

第四條 基本財産ノ處分ハ定期會ノ決議ヲ經ルモノトス

### 福井縣農會積立金管理規程

第一條 本會ハ左ノ規程ニヨリ積立金ヲ蓄積シ職員退職及遺族給與金其他必要ナル用途ニ充ツルモノトス

第二條 積立金ニ編入スヘキ金員ノ種類左ノ如シ

- 一 毎年度豫算ヲ以テ定メタル金額
- 二 積立金ヨリ生スル利子



第三條 積立金ハ有價證券ヲ買入レ又ハ確實ナル銀行若クハ郵便貯金ニ預ケ入ルモノトス

第四條 積立金ハ特別會計トナシ其ノ收支計算ハ會計年度ニヨリ之ヲ整理シ毎年經費決算ト共ニ公示スルモノトス

第五條 積立金ノ處分ハ評議員會ノ決議ヲ經ルモノトス  
但職員退職及遺族給與金ヲ支出スル場合ハ會長之ヲ專行スルモノトス

### 福井縣農會々計規程

第一條 歳入ノ現金又ハ證券ハ會長ノ名ヲ以テ確實ナル銀行又ハ郵便貯金ニ預ケ入レ預リ證券ハ會長之ヲ保管ス

第二條 現金ハ會長ノ名ヲ以テ確實ナル銀行ニ當座預トナシ支拂ハ總テ小切手ヲ以テ確實ナル銀行ヲシテ現金ヲ拂ヒ渡サシム

第三條 豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ爲ニ豫備費ヲ支出セントスルトキハ評議員會ノ決議ヲ經ルモノトス

第四條 金錢ノ出納ヲ整理スル爲メ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

- 一 現金出納簿 第一號様式
- 一 歳入整理簿 第二號様式
- 一 歳出整理簿 第三號様式
- 一 基本財産臺帳 第四號様式
- 一 備品受拂簿 第五號様式

第五條 會計事務取扱ノ爲メ主任書記ヲ定ムルコトアルヘシ

第六條 主任書記ニ於テ收入支出ヲ要スル時ハ左ノ各項ニ依リ取扱  
フヘシ

- 一 收入傳票ヲ作り納人金額科目年度年月日番號ヲ記入スヘシ
- 二 支出傳票ヲ作り債主若クハ代理人ノ氏名支出ノ目的金額科目  
年度年月日番號等ヲ記載スヘシ

但シ支出傳票ハ請求書ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第七條 農事試驗場ニ係ル經費ハ其ノ場長ニ仕拂ノ委任ヲナスコト  
アルヘシ

但シ場長ニ仕拂委任ヲナシタル時ハ此ノ規程ヲ準用ス

第八條 普通事務ニ關スル備品ハ會長之ヲ保管シ農事試驗場ニ關ス  
ルモノハ農事試驗場長之ヲ保管ス

第九條 幹事ハ年度内數回金錢物品ノ出納ヲ監査シ其成績ヲ會長ニ  
報告スヘシ

第十條 金錢ノ仕拂ハ俸給手當ヲ除ク外毎月末日トス  
但シ特別ノ事情アルモノハ臨時仕拂ヲ爲スコトヲ得

(第一號様式) 現金出納簿

年	月	日	證憑 番號	摘 要	豫算額	仕拂命令 發行濟額	豫算殘高
四	四	一	收一	前年度繰越金收 入	100000		100000
同	同	二	收二	縣費補助金收入	3100000		3400000
同	同	三	支一	何月分俸給何ノ 誰外何名渡		153000	

同	同	同	支二	何月何日其他出張旅費何ノ誰渡				一五〇〇〇	三、三三、〇〇〇
			何月分計		三、四〇〇、〇〇〇	一六、〇〇〇	三、三三、〇〇〇		
			累計	何	何	何	何		

(第二號樣式) 歲入整理簿 月ヲ以テ整理ス

同	同	〇	收二	縣費補助收入		三、五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
四	四	一	算額	縣費補助決議豫算額	四、五〇〇、〇〇〇		四、五〇〇、〇〇〇
年	月	日	證憑番號	摘要	調定額	收入濟額	收未濟額

(第三號樣式) 歲出整理簿

同	同	三	支一	何月分俸給何ノ誰外何名渡		一五三、〇〇〇	一、八四七、〇〇〇
四	四	一	算額	農事試驗場俸給決議豫算額	二、〇〇〇、〇〇〇		二、〇〇〇、〇〇〇
年	月	日	證憑番號	摘要	豫算額	仕拂命令發行殘額	豫算殘額

(第四號樣式) 基本財産臺帳

同	同	同	支一	明治何年何月何日マテ預ケ金利	100000		100000
何	何	何	支一	明治何年何月何日何年度繰越金ノ内基本財産へ組入ル	1,000,000		1,000,000
年	月	日	憑證番號	摘要	豫算額	仕拂命令發行濟額	殘算殘額

(第五號樣式) 備品受拂簿

品名	數量	事由	請求年月日	請求人印	受取年月日	受取人印	返納年月日	返納事由	返納人印
鍬	五挺	農事試驗場	四十四年四月一日	印	四十四年四月二日	印			

支出傳票

起案 明治何十何年何月何日 議決 何月何日 任主 書記 印

會長 副會長 顧問 幹事 書記  
傳 票

明治四十四年度歲出經常費福井縣農會事務所費何々  
福井市何町何番地

何 某

一金五圓參拾錢

內

金壹圓貳拾錢  
金四圓拾錢

卓掛一枚代  
椅子一脚代

右支出相成可然哉

收入傳票

起案 明治何十何年何月何日 判決 何月何日 任主 書記

會長 副會長 顧問 幹事 書記  
傳 票

明治四十四年度經常費福井縣農會農事試驗場費雜收入鶏卵代

何郡何村何番地

何ノ某

一金壹圓也

但鶏卵五十個代現金ハ何銀行ヘ碩ケ入

右收入相成可然哉

### 福井縣農會農事試驗場規程

第一條 農事試驗場ハ農會長ノ管理ニ屬シ左ノ業務ヲ掌ル

- 一 農産増殖改良ニ關スル試驗及調査
- 二 巡回講話
- 三 土壤肥料農産物等ノ分拆
- 四 種苗肥料等鑑定

五 種苗ノ配付

第二條 農事試驗場ニ左ノ職員ヲ置ク

場長 技師 技手 書記 助手

第三條 場長ハ農會長ノ指揮監督ヲ承ケ場中諸般ノ事務ヲ掌理ス

第四條 技師ハ場長ノ指揮ヲ承ケ場務ヲ掌ル

第五條 技手ハ上司ノ指揮ヲ承ケ場務ニ従事ス

第六條 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ場務ニ従事ス

第七條 助手ハ上司ノ指揮ヲ承ケ場務ニ従事ス

第八條 農事試驗場ハ前年度ノ業務功程ヲ毎年五月限又試驗成績ハ

其都度之ヲ農會長ニ報告スヘシ

第九條 農事試驗場ハ農事上ニ關シ下級農會ノ請求ニ依リ事業ノ設

計調査ヲナシ又ハ質問ノ應答ヲナスモノトス

36

### 福井農會農事試驗場處務規程

- 第一條 農事試驗場長ハ規程ノ定ムル所ニ隨ヒ主管業務ノ責ニ任シ場員ノ勤惰ヲ監督スルモノトス
- 第二條 場長事故アルトキハ次席者其事務ヲ代理ス
- 第三條 場長ハ場員ノ事務及業務ノ分擔ヲ定ムルモノトス
- 第四條 場長ハ毎年試驗ノ順序方法ヲ定メ會長ノ認可ヲ受クヘシ
- 第五條 試驗成績ハ擔任者ニ於テ試驗終了後直チニ場長ニ報告スヘシ
- 第六條 場長ハ試驗成績ヲ審査編纂シ其都度會長ニ報告スヘシ

第七條 場長ハ場員ノ管内出張ヲ命スルコトヲ得此場合ニ於テハ出張者氏名出張先用件及發着期日ヲ每月末一括シテ會長ニ報告スヘシ

第八條 小使及農夫ノ採罷ハ場長之ヲ行フコトヲ得但其都度之ヲ會長ニ報告スルモノトス

第九條 場長ハ場員任免ノ場合ニ事務ノ引繼ヲナサシムヘシ

第十條 分拆鑑定等ニ應シ含有成分ノ證明ヲナストキハ場長之ニ署名スルモノトス

第十一條 本規程ニ正條ナキモノハ本會處務規程ヲ準用ス

### 議事規則

第一條 會議時間ハ午前九時ニ始メ午后四時ニ終ル但時宜ニ依リ伸

37

縮スルコトアルヘシ

第二條 議員ハ開會時限前ニ參集シ出席簿ニ押印スヘシ

第三條 議員ノ席次ハ抽籤ヲ以テ定メ各席ニ番號ヲ附ス

第四條 議員欠席スル時ハ其ノ事由ヲ開會期限前ニ議長ヘ通知スヘシ

第五條 議題ノ外議事中ニ起リタル總テノ事件ハ議長コレヲ決シ又ハ會議ニ諮ヒ之ヲ決スヘシ

第六條 議事中ニ起リタル事項ニシテ調査等ヲ要スル場合ニハ委員ヲ置ク

第七條 委員ノ人員ハ奇數トシ會員中ヨリ之ヲ互選シ又ハ議長指名ニヨルモノトス

第八條 委員會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス

第九條 委員會ノ意見ハ書面又ハ口述ヲ以テ之ヲ議會ヘ報告スヘシ

第十條 協議會ハ議長ニ於テ必要ト認メタルトキ之ヲ開ク

第十一條 議事ノ評決ハ議題ニヨリ議長コレヲ定ム

第十二條 發言セントスルモノハ先ツ起立シ自己ノ番號ヲ告ケ議長ノ反呼ヲ得テ發言スヘシ

第十三條 前各條ノ外請般ノ整理ハ議長之ヲ爲ス所トス

### 福井縣農會農藝委員設置規程

第一條 本會ニ農藝委員若干名ヲ置ク農藝委員ハ本縣在住者ニシテ學術技藝ニ卓板ナル人ニ就キ會長之ヲ囑托ス

第二條 農藝委員ハ名譽職トス

但實費辨償ナスコトアルヘシ

第三條 本會々長ハ必要ニ應シ農藝委員ヲ招集シテ農藝委員會ヲ開ク農藝委員會ノ諮問案ハ會長之ヲ發ス

第四條 農藝委員ハ農藝委員會ニ提案シ其決議シタル事項ヲ會長ニ建議スルコトヲ得

第五條 農藝委員ハ隨時會長幹事及試驗場長ニ意見ヲ開陳スルコトヲ得

第六條 會長ハ本會ノ事業又ハ農事試驗場ノ業務部門ニ依リ農藝委員ノ所屬ヲ定メ其設計ニ參與セシム  
但必要ノ場合ニ於テハ實務ヲ補佐セシムルコトアルヘシ

### 郡農會技手給補助規程

第一條 郡農會ニ技手ヲ置クトキハ一人ニ限り俸給十分ノ七以内ヲ補助ス

第二條 補助ヲ受ケントスル技手ハ甲種農學校卒業若クハコレト同等以上ノ學力ヲ有スルモノニ限ル

第三條 技手給ノ補助ヲ受ケントスルトキハ其ノ任用ニ先チ技手ノ擔當事務本人ノ履歷書及ヒ俸給豫算書ヲ添へ縣農會長ノ承認ヲ受クヘシ

第四條 第三條ノ手續ヲ經テ技手ヲ任用シタル時ハ遲滯ナク其氏名及ヒ任用ノ年月日ヲ縣農會長へ報告スヘシ之ヲ解任シタル場合亦同シ



第五條 技手給補助ヲ受ケ居ル技手ヲシテ他ノ職務ヲ兼掌セシメン  
ト欲スルトキハ前以テ縣農會長ノ承認ヲ受クヘシ  
但品評會若クハ共進會等一時的ノ事務ニ從事スル場合ハ此ノ限ニ  
非ラス

第六條 本規程ニ依リ補助ヲ受クル技手ハ縣農會ニ於テ執務ノ狀況  
ヲ考査シ其ノ補助ノ支給ヲ停止シ又ハ之ヲ廢止スルコトアルヘシ

### 福井縣農會農事講習會規則

第一條 農事講習會ハ農事上ノ學理ト應用トヲ授ケ斯業ノ改良發達  
ヲ圖ルヲ目的トス

第二條 農事講習會ハ各郡便宜ノ地ヲ選ミ之ヲ開設ス

第三條 講習會ハ一ヶ所二十名以上トス

第四條 講習生ハ左ノ資格ヲ具備スルモノニ限ル

- 一 年齡十五歲以上ノ男女ニシテ其郡内ニ在籍現住スルモノ
- 二 品行方正ニシテ平素農業ニ從事スルモノ又ハ將來從事セント  
スルモノ

第五條 講習日數ハ一ヶ所五日以上十五日以内トシ講習時間一日五  
時間トス

但シ講師ノ都合ニ依リ時間ノ伸縮スルコトアルヘシ

第六條 講習生規程ノ科目ヲ修了シタルトキハ修了證ヲ授與ス

第七條 講習生ハ修了セル科目ヲ實驗シ當業者ニ報告誘導スルノ義  
務アルモノトス

第八條 講習生タラントスル者ハ開會五日前ニ郡農會長ニ其旨申出  
ヘシ

第九條 講習生病氣其他ノ事項ニ依リ退會セントスキハ管理者ニ  
申出ツヘシ

第十條 講習生怠惰若クハ不品行ニシテ成業ノ見込ナシト認ムルト  
キハ退會セシムルコトアルヘシ

第十一條 受業上ニ要スル物品ハ講習生ノ自辨トス

第十二條 講習會場ノ管理ハ開催地ノ郡農會若クハ町村農會長ニ之  
ヲ任スルモノトス

### 福井縣農會野鼠窒扶斯菌拂下規程

第一條 本會ニ於テハ野鼠驅除ノ爲メ郡農會ノ請求ニ應シ一郡二回  
(毎回執行反別一圃地貳拾町步以内)ヲ限度トシ技術員ヲ派遣シ窒  
扶斯菌ノ使用法ヲ實地ニ就キ指導セシム

第二條 前條ノ場合ニ於テ驅除ニ要スル蕎麥粉并ニ人夫等ハ郡農會  
ノ負擔トス

第三條 技術員ノ派遣請求第一ノ限度ニ超ユルトキハ之ニ要スル費  
用ハ總テ郡農會ノ負擔トシ技術員ノ旅費窒扶斯菌ノ代價ハ別表ニ  
依リ納付セシム

第四條 郡農會ニ於テ窒扶斯菌ノ拂下ヲ請求スルトキハ別表ニヨリ  
代價ヲ納付セシム

第五條 郡農會又ハ町村農會ニ於テ驅除執行シタルトキハ其成績ヲ

本會ニ報告スルモノトス

(別表)

技術員旅費

汽車一哩 金四錢 宿泊料一夜 金七拾錢

車馬一里 金拾五錢 日當一日 金四拾錢

窒扶斯菌百本ニ付 金六拾錢

但容器タル試験管ハ使用後直ニ返納セシム若シ誤テ破損シタルト  
キハ一本ニ付金四錢ヲ倍償セシムルモノトス

### 福井縣農會依頼分析規程

第一條 本會農事試驗場ハ他ノ依頼ニ應シ左記ノ場合ニ於テ手数料

ヲ徴セスシテ化學分析ヲ行フ

- 一 共同購入ノ目的ヲ以テ郡農會ノ依頼ニ係ル肥料ノ鑑定
- 二 成分不明ノ肥料ニ就テ郡農會ノ依頼ニ係ルモノ
- 三 調査上必要ト認メ得ヘキ件ニシテ郡農會ノ依頼ニ係ル土壤、  
農産物、飼料、水等

但同一人ニシテ同一肥料ニ就テ二回以上分析保證ヲ出願スルモ正  
當ノ理由ナキモノハ許可セス

第二條 第一條ニ該當セサル依頼分析ニ對シテハ左記ノ手数料ヲ徴  
ス

- 一 肥料ノ定量分析ハ一成分ニ付 金五拾錢
- 二 土壤ノ定量分析ハ一成分ニ付 金壹圓

附  
錄

二成分以上ハ一成分ヲ増ス毎ニ金五十錢ヲ加フ

第三條 第二條ニ規定セル分析手数料ハ依頼書ニ相添へ現金ヲ前納  
セシム

# 農會法

明治三十二年六月  
法律第三百三號

(沿革) 明治四十三年三月法律第十九號改正

第一條 農會ハ農事改良發達ヲ計ル爲メニ設立スルモノトス

第一條ノ二 農會ハ市町村農會、郡農會、道府縣農會及帝國農會ト  
ス

第二條 農會ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 農商務大臣ハ其定ムル所ノ條件ヲ具備スル農會ニ補助金ヲ  
交付スルコトヲ得

第四條 (削除)

第五條 農會補助ノ爲メ國庫ヨリ支出スル金額ハ壹箇年金拾五萬圓

ヲ超ユルコトヲ得ス

附 則

第六條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

## 農會令

明治三十八年十月廿七日  
勅令第二百二十五號

(沿革)明治四十三年九月廿七日勅令三百五十二號改正

第一條 農會ニハ帝國農會、北海道農會、府縣農會、郡農會、又ハ市町村農會ノ名稱ヲ附スヘシ但シ島司ヲ置キタル島嶼ニ在リテハ島農會、北海道又ハ沖繩縣ノ區ニ在リテハ區農會、町村組合ニ在リテハ町村組合農會ト稱スルコトヲ得  
本令ニ依リ設立シタル農會ニ非サレハ前項ニ掲ケタル名稱ヲ附スルコトヲ得ス

第二條 農會ハ法人トス  
農會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第三條 市町村農會ノ區域ハ市町村ノ區域ニ依リ郡農會ノ區域ハ郡ノ區域ニ依リ北海道農會又ハ府縣農會ノ區域ニ北海道又ハ府縣ノ區域ニ依リ帝國農會ノ區域ハ全國ヲ以テ其ノ區域トス但シ東京府農會ニ在リテハ小笠原島及伊豆七島ヲ除ク

特別ノ事由アルトキハ市町村農會ノ區域ハ前項ノ區域ニ依ラサルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市農會ニ在リテハ地方長官、町村農會ニ在リテハ郡長ノ許可ヲ經テ其ノ區域ヲ定ムヘシ但シ市ノ區域ノ一部ヲ加ヘテ町村農會ノ區域ト爲サムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

市ト郡トノ區域ニ涉リテ市町村農會ノ區域ノ設定アリタルトキハ第一項郡農會ノ區域モ亦自ラ之ニ伴ヒ變更アリタルモノトス

北海道ニ於テハ數郡ヲ以テ一郡農會ノ區域ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ北海道廳長官ノ許可ヲ經テ其ノ區域ヲ定ムヘシ

第四條 市町村農會ハ其ノ區域内ニ於テ國及公共團體ヲ除クノ外耕地、牧場又ハ原野ヲ所有スル者及農業ヲ營ム者ヲ以テ之ヲ組織シ郡農會ハ其ノ區域内ノ町村農會ヲ以テ之ヲ組織シ北海道農會又ハ府縣農會ハ其ノ區域内ノ郡農會及市農會ヲ以テ之ヲ組織シ帝國農會ハ北海道農會及府縣農會ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 市町村農會ヲ設立スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス  
一、設立者ノ數第四條ノ資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ナルコト  
二、其ノ區域内ニ於テ設立者ノ占有又ハ所有スル耕地及牧場ノ面積カ私用ニ供スル耕地及牧場ノ總面積ノ三分ノ二以上ナルコト

北海道、沖繩縣、小笠原島及伊豆七島ニ於テハ前條第二號ノ條件ヲ要セス

第六條 郡農會ヲ設立スルニハ之ヲ組織スル農會ノ數其ノ區域内ノ町村總數ノ三分ノ二以上タルコトヲ要ス

府縣農會ヲ設立スルニハ之ヲ組織スル農會ノ數其ノ區域内ノ郡市總數ノ三分ノ二以上タルコトヲ要ス

北海道ニ於ケル郡農會及北海道農會ヲ組織スヘキ農會ノ數ハ農商務大臣之ヲ定ム

帝國農會ヲ設立スルニハ之ヲ組織スル農會ノ數道府縣總數ノ三分ノ二以上タルコトヲ要ス

第七條 農會成立シタルトキハ第四條ニ依リ當該農會ヲ組織スヘキ

者ハ總テ其ノ農會ニ加入シタルモノト看做ス

第八條 帝國農會以外ノ農會ノ設立者ハ會則ヲ定メ市町村農會ニ在リテハ五名以上ノ委員、其ノ他ノ農會ニ在リテハ之ヲ組織スル農會ノ會長ヨリ之ヲ行政廳ニ差出シ農會設立ノ許可ヲ受クヘシ

第八條ノ二 帝國農會ノ設立ヲ發起スル農會ハ會則案ヲ定メ第四條ニ依リ之ヲ組織スヘキ他ノ農會ニ對シ同意ヲ求ムヘシ

第八條ノ三 帝國農會ノ設立ヲ發起シ及其ノ設立ニ同意シタル農會ハ各一名ノ創立委員ヲ選舉スヘシ其選舉ニ付テハ第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

第八條ノ四 帝國農會ノ設立ヲ發起シ及其ノ設立ニ同意シタル農會ノ數第六條第四項ニ定メタル條件ヲ具備スルニ至リタルトキハ發



起者ハ創立委員會ヲ招集シ委員長一名ヲ互選セシムヘシ  
創立委員長就任シタルトキハ發起者ハ其ノ事務ヲ之ニ引繼クヘ  
シ

第八條ノ五 創立委員會ニ於テ會則ヲ議定スヘシ

會則ノ議定ハ道府縣總數ノ三分ノ二以上ニ相當スル創立委員ノ同  
意ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第八條ノ六 創立委員會ヲ終リタルトキハ創立委員長ハ會則ヲ農商  
務大臣ニ差出シ農會設立ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 會則ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、名稱及市町村農會以外ノ農會ニ在リテハ之ヲ組織スル農會ノ  
名稱

## 二、事業

## 三、事務所

四、役員ノ職務權限、選任、解任及任期ニ關スル規定

五、會議ニ關スル規定

六、會費ノ分賦收入ニ關スル規定

七、財産ニ關スル規定

八、處務及會計ニ關スル規定

九、會則ノ變更ニ關スル規定

十、解散ニ關スル規定

十一、第三條第一項ノ區域ニ依ラサル農會ニ在リテハ其ノ區域  
會則ノ變更ハ行政廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其効力ヲ生セス

第十條 總會ハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員、其ノ他ノ農會ニ在リテハ其ノ農會ヲ組織スル農會ノ選舉シタル議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

農會ハ議員及議員事故アルトキ之ヲ代理スヘキ豫備議員各一名ヲ選舉スヘシ

第十一條 郡農會ノ議員及豫備議員ハ町村農會ノ總會ニ於テ役員タル會員中ヨリ北海道農會及府縣農會ノ議員及豫備議員ハ郡市農會ノ總會ニ於テ役員タル會員又ハ議員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ役員タル會員又ハ議員中ヨリ選舉スルコト能ハサル場合ニ於テハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員中、郡農會ニ在リテハ其ノ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

帝國農會ノ議員及豫備議員ハ北海道農會及府縣農會ノ總會ニ於テ其ノ區域内ニ於ケル市町村農會ノ會員及北海道農會、府縣農會ノ名譽會員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ  
帝國農會ノ創立委員ハ第一回ノ議員トシテ選舉セラレタルモノト看做ス

議員及豫備議員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ三箇年トス但シ補闕ノ爲選舉セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス  
議員又ハ豫備議員ノ改選期ヲ同一ナラシムル爲必要アル場合ニ於テハ農會ハ會則ヲ以テ其ノ任期ヲ伸縮スルコトヲ得

第十二條 議員及豫備議員ハ其任期滿了ノ場合ト雖後任者ノ就任スル迄其ノ職務ヲ行フモノトス

第十二條ノ二 農商務大臣ハ帝國農會ノ特別議員、地方長官ハ北海道農會又ハ府縣農會ノ特別議員ヲ命スルコトヲ得但シ其ノ員數ハ其ノ農會ヲ組織スル農會ノ數ノ三分ノ一ヲ超ユルコトヲ得

特別議員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ三箇年トシ但シ農商務大臣又ハ地方長官ハ任命ノ際特ニ之ヲ短縮スルコトヲ得

第十三條 總會ノ決議カ法令若ハ會則ニ違背シ、公益ヲ害シ又ハ事業ノ執行上不適當ナリト認ムルトキハ會長ハ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スルコトヲ得

第十四條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ召集スル暇ナシト認ムルトキハ會長ハ專決處分スルコトヲ得此ノ場

合ニ於テハ次ノ總會ノ承認ヲ求ムヘシ

第十五條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニシテ重要ノ事項ニ非ナルモノハ會則ノ定ムル所ニ從ヒ會長ニ於テ書面ニ依リ其ノ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總會ノ招集ニ代フルコトヲ得

第十六條 農會ハ農事ニ功勞アル者又ハ農事ニ關シ學識經驗アル者ヲ名譽會員ト爲スコトヲ得

名譽會員ハ議決權ヲ有セス

第十七條 農會ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ

會長 一名

副會長 一名

前項ノ外役員トシテ評議員及幹事ヲ置クコトヲ得

評議員及幹事ノ員數ハ會則ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ評議員ハ市町村農會ニ在リテハ七名、北海道農會、府縣農會及郡農會ニ在リテハ五名、帝國農會ニアリテハ十五名、幹事ハ二名ヲ超ユルコトヲ得ス

第十八條 會長、副會長及評議員ハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員中、其ノ他ノ農會ニ在リテハ其ノ總會ヲ組織スル者ノ中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選舉スヘシ但シ會長及副會長ハ名譽會員中ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ妨ケス

帝國農會ノ評議員ハ議員中ヨリ其ノ三分ノ二、特別議員中ヨリ其ノ三分ノ一ヲ選舉スヘシ

幹事ハ會長之ヲ命ス

第十九條 會長ハ會務ヲ總理シ農會ヲ代表ス

副會長ハ會長ノ事務ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

副會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ及會務執行ノ狀況ヲ監査スルモノトス

幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌ル

第二十條 農會ノ經費ハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員ノ負擔トシ其ノ他ノ農會ニ在リテハ之ヲ組織スル農會ノ負擔トス

市町村農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ物件ヲ以テ經費ノ負擔ヲ爲サシムルコトヲ得

市町村ハ必要ト認ムルトキハ監督官廳ノ許可ヲ得テ市町村農會ニ

補助ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 農會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十二條 農會ハ毎年總會ニ於テ經費ノ豫算及分賦收入ノ方法ヲ議決シ二月末日迄ニ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

經費ノ豫算及分賦收入ノ方法ヲ變更セムトスルトキハ總會ノ議決ヲ經テ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條 農會ハ毎年六月三十日迄ニ前年度ノ經費ノ決算、財産目錄及會務ノ狀況ヲ會員又ハ農會ニ公示シ且之ヲ行政廳ニ報告スヘシ

第二十四條 農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農事ニ關スル報告書ヲ作

リ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第二十五條 農會ハ農事ノ改良發達ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得

農會ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

第二十六條 行政廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ農會ノ狀況若ハ書類ヲ検査シ又ハ農會ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 農會ノ決議又ハ其ノ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違背スルトキ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ帝國農會、北海道農會及府縣農會ニ在リテハ農商務大臣其ノ他ノ農會ニ在リテハ地方長官ニ於テ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一、決議ノ取消
- 二、役員ノ解散
- 三、事業ノ停止
- 四、解散

解職セラレタル役員ハ二ケ年間役員タルコトヲ得ス

第二十八條 農會ニ於テ解散ヲ議決シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第二十九條 行政區劃ノ變更アリタルトキハ農會ノ區域モ亦自ラ變更アリタルモノトス

農會ノ屬スル地方區域他ニ合併又ハ分割セラレタルトキハ其ノ農會ハ解散ス

第三十條 前條ノ場合ニ於テ新地方區域内ニ既設ノ農會存立セサルトキ舊農會ノ會員タリシ者竝其ノ占有若ハ所有スル耕地及牧場ノ面積又ハ舊農會ヲ組織セシ農會ノ數第五條若ハ第六條ノ條件ニ該當スルトキハ直ニ新地方區域ニ依ル農會ヲ設立シタルモノト見做ス

前項ノ場合ニ於テハ行政廳ニ於テ假ニ會則ヲ定メ假役員假議員ヲ選任シテ役員及議員ノ選任アル迄會務ヲ處理セシムヘシ

第一項ニ依リ設立シタル農會ハ會則ヲ議決シ設立ノ時ヨリ二ケ月以内ニ行政廳ノ認可ヲ申請スヘシ

第三十一條 第三條第二項ノ場合ニ於テ郡長又ハ地方長官ノ許可ヲ經テ設立シタル農會ニシテ特別ノ事由消滅シタルトキハ郡長又ハ

地方長官ハ其ノ許可ヲ取消スヘシ

農會ハ前項ノ取消ニ因リテ解散ス此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 農會ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ尙存續スルモノト看做ス

第三十三條 農會解散シタルトキハ會長及副會長其ノ清算人ト爲ル但シ會則ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ノ決議ヲ以テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ行政廳清算人ヲ選任ス清算人闕ケタルトキ亦同シ

第三十四條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メテ行政廳ノ認可

ヲ受クヘシ

清算人ハ農會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第三十五條 行政廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ清算及財産處分方法ノ變更又ハ清算人ノ解職ヲ命スルコトヲ得

第三十六條 清算カ結了シタルトキハ清算人ハ農會ニ屬スル帳簿其ノ他ノ書類及清算ニ關スル一切ノ書類ヲ添ヘ其ノ旨ヲ行政廳ニ届出ツヘシ

第三十七條 第八條、第九條第二項、第二十二條、第二十三條、第二十八條、第三十條第二項及第三項、第三十三條第二項、第三十四條第一項、第三十五條及第三十六條ノ行政廳ハ町村農會ニ在リ

テハ郡長市農會及郡農會ニ在リテハ地方長官、帝國農會、北海道農會及府縣農會ニ在リテハ農商務大臣トス

第三十七條ノ二 本令中郡農會ニ關スル規定ハ島農會ニ、市農會ニ關スル規定ハ北海道又ハ沖繩縣ノ區農會ニ、町村農會ニ關スル規定ハ町村組合又ハ町村ニ準スヘキ地ノ農會ニ之ヲ準用ス

本令ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島中島司ヲ置カサル島嶼ニ在リテハ東京府知事、北海道ニ在リテハ支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ在テリハ島司之ヲ行フ

附 則

本令ハ明治四十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

既設農會ニシテ其ノ會則本令ニ適合セサルモノハ本令施行後一年

内ニ會則ノ變更ヲ爲スヘシ

現ニ市町村農會及郡農會ノ代表者又ハ副代表者タル者ハ其ノ代表スル農會ヨリ選舉セラレタル議員又ハ豫備議員ト看做ス但シ其ノ任期ハ代表者又ハ副代表者トシテノ殘任期間トス



# 農會令施行規則

明治三十八年十一月六日  
農商務省令第二十四號

(沿革)明治四十三年十月一日農商務省令第二十一號改正

72

第一條 農會設立ノ許可申請書ニハ農會令第五條又ハ第六條ニ定メタル條件ヲ具備スルコトヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

帝國農會設立ノ許可申請書ニハ前項ノ書面ノ外創立委員會ノ決議録ノ謄本ヲ添付スヘシ

第二條 農會設立ノ許可アリタルトキハ遲滯ナク經費ノ豫算及分賦收入ノ方法ヲ議決シ行政廳ノ認可ヲ申請シ且役員議員及豫備議員ヲ選舉スヘシ農會令第三十條第三項ノ規定ニ依リ會則ノ認可アリタルトキ亦同シ

第三條 經費ノ豫算及分賦收入ノ方法又ハ會則ノ變更認可申請書ニハ其ノ變更ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第四條 農會ニ於テ會則ノ施行又ハ事業ノ執行ニ關スル規定ヲ設メタルトキハ其ノ都度行政廳ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第四條ノ二 地方長官北海道農會又ハ府縣農會ノ特別議員ヲ命シタルトキハ遲滯ナク其ノ氏名ヲ農務大臣ニ報告スヘシ

第五條 役員又ハ清算人ノ選任又ハ解任アリタルトキハ遲滯ナク其ノ氏名ヲ行政廳ニ届出ツヘシ

第六條 市町村農會ノ會員ハ代理人ニ依リ議決權ヲ行フコトヲ得但シ會員ニ非サハレ代理人タルコトヲ得ス

73

第七條 農會令第二十七條又ハ第二十七條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲シタルトキハ郡長ハ地方長官ニ、地方長官ハ農商務大臣ニ其ノ事由ヲ具シテ遲滯ナク之ヲ報告スヘシ

第八條 農會ノ設立又ハ解散アリタルトキハ郡長ハ地方長官ニ、地方長官ハ農商務大臣ニ其ノ旨ヲ報告スヘシ農會ノ區域ニ變更アリタルトキ亦同シ

第九條 農會ノ設立又ハ解散アリタルトキハ行政廳ハ之ヲ告示スヘシ第十條ニ依リ届出ヲ受ケタルトキ亦同シ

規十條 既設農會農會令第五條又ハ第六條ノ條件ヲ具備スルトキハ之ヲ證スル書面ヲ添付シテ遲滯ナク其ノ旨ヲ行政廳ニ届出ツヘシ其ノ條件ヲ具備スルニ至リタルトキ亦同シ

第十一條 前條ノ規定ニ依リ届出ヲ受ケタルトキハ郡長ハ地方長官ニ、地方長官ハ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十二條 本則ノ規定ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島中島司ヲ置カサル島嶼ニ於テハ東京府知事、北海道ニ於テハ支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司之ヲ行フ

第十三條 帝國農會以外ノ農會ヨリ書面ヲ農商務大臣ニ差出ストキハ地方長官ヲ經由スヘシ

## 農會經費豫算書、概算書及決算書

明治三十三年十二月一日  
農商務省告示第百廿九號

北海道農會又ハ府縣農會カ農會令、農會令施行規則及農會補助金交付規則ノ規定ニ依リ農商務大臣ヘ差出スヘキ經費豫算書、經費概算書及ヒ經費決算書ノ様式左ノ通相定ム郡市農會又ハ町村農會カ行政廳ニ差出スヘキ經費豫算書、經費概算書及經費決算書ノ様式ハ之ニ準スルモノト心得ヘシ

### 某農會明治何年度經費收入豫算書

科 目	本年 度		前年 度		比 較		說 明
	豫 算	高 度	豫 算	高 度	增	減	
第一款會 費							
第一項 郡市農會 負擔金							
第二款雜 收入							
第一項財產收入							
第二項 不用品賣 却代							
第三項寄 附金							
第三款補 助金							

第四項 備品及 消耗品	第五項 雜給	第六項 雜費	第二款 會議費	第一款 總會費	第二項 評議員費	第三款 事業費	第一項 技術員給	第二項 技術員費

科目	本年 豫算額	前年 豫算額	比較		說明
			增	減	
第一項 國庫補助					
第二項 道府縣補助					
合計					
某農會明治何年度經費支出豫算書					
濶一 款事務 所費					
第一項 役員報 酬					
第二項 事務員 給					
第三項 旅費					



ヲ妨ケス

- 一 補助ヲ受ケントスル農會カ補助金交付申請書ニ添付シ差出ス  
經費概算書ニ在リテハ本年度豫算額欄ヲ本年度概算額トス
- 一 經費決算書ニ在リテハ本年度豫算額欄ヲ決算額トシ前年度豫  
算額欄ヲ豫算額トス

### 農會報告事項

明治三十五年十二月二十七日  
農商務省令第二十六號

(沿革) 明治四十一年四月一日同省令第四號改正

農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件左ノ通相定ム

第一條 農會ハ毎年其區域内ニ於ケル左ノ事項ヲ調査シ地方長官ニ

於テ告示スル様式ニ依リ報告書ヲ作成スヘシ

一 一毛作田地及二毛以上作田地ノ反別 (桑樹其ノ他樹木ヲ主ト

シテ植付シタルモノハ一毛作中ニ區別シ主タル裏作トシテ紫

雲英、苜蓿等ノ綠肥ヲ作付シタルモノハ二毛以上作中ニ區別

スヘシ)

二 牛馬耕ヲ爲ス田畑ノ反別

- 三 自作田畑小作田畑ノ各反別
- 四 耕作用牛馬ノ頭數
- 五 總戶數及專業并兼業各農家（耕地ニ從事セサル地主ヲ除ク）ノ戶數
- 六 自作、小作及自作兼小作各農家戶數
- 七 耕地（田畑）所有ノ廣狹ニ依リ區別シタル農家（耕作ニ從事セサル地主ヲ加フ）戶數
- 八 耕作スル耕地（田畑）ノ廣狹ニ依リ區別シタル農家戶數
- 九 農業ニ關スル教育ヲ受ケタル者（農學校、農事講習所又ハ之ニ準スヘキモノヲ卒業シタルモノ及農事講習會又ハ之ニ準スヘキ者ニ於テ講習ヲ受ケタル者）ノ現在數

前項第一號及第二號ハ毎年ノ事實、第三號乃至第九號ハ每年末ノ事實ヲ調査スヘシ

第二條 町村農會ハ前條ノ報告書ヲ郡（島ヲ含ム以下做之）農會ニ、郡農會ノ設立ナキ地方ニ於ケル町村農會ハ道府縣農會ニ、市農會ハ道府縣農會ニ差出スヘシ

郡農會ハ其ノ區域内ニ農會設立ナキ町村アルトキハ自ラ前條ノ調査ヲ爲シ町村農會ノ報告書ト共ニ總括シテ報告書ヲ作成シ之ヲ道府縣農會ニ差出スヘシ

道府縣農會ハ其ノ區域内ニ農會ノ設立ナキ市郡アルトキハ自ラ前條ノ調査ヲ爲シ市農會及郡農會ノ報告書ト共ニ總括シテ報告書ヲ作成シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ



第三條 前條ノ規定ニ依リ報告書ヲ差出スヘキ期限ハ町村農會ニ在  
リテハ調査ヲ爲シタル年ノ翌年一月末日、市農會及郡農會ニ在リ  
テハ二月末日、道府縣農會ニ在リテハ三月末日トス

附 則

第四條 本令ハ明治三十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス



終

